

下水道管更生デモ (長野)

主催 一般社団法人長野県下水道建設管理業協会、後援 一般社団法人日本管路更生工法品質確保協会が昨年に引き続き安曇野の長野県下水道公社中信管理事務所内敷地で昨年に続き、9月26日(水)開催されました。参加は反転・形成工法5工法協会となりました。

今回のデモ施工は反転・形成工限定の為、当会としてはパルテムSZ工法の参加となり、効果的

なアピールとして他工法協

会による装着実演デモではなく、地震時の下水道管きよのダメージを想定して落錘試験によりパルテムSZ工法でライニングされた下水道管きよを約10°に屈曲させたのちに内圧をかけて漏れの無いことを確認しました。当工法は地盤追従性能に優れており地震後の供用に支障をきたさないことを見学者にアピールすることが出来ました。



SZの落錘試験実演説明



落錘後の管きよ状況

その他にもホースライニング工法・パルテムSZ工法のサンプル管の展示やパネル展示を行うとともに、工法紹介の映像にて工法の理解を深めていただきました。

なお、見学者は一般社団法人長野県下水道建設管理業協会の会員25社44名、長野県関係者18地区31名。関係者50名で5工法協会順番で見学していただきました。見学者からは実演後、当工法への質問が多数あり盛況となりました。来年度は製管工法での施工デモを企画されているとのことで、パルテム・フローリング工法で参加を予定しております。

見学者のみなさん、ありがとうございました。

(パルテム技術協会 中部支部)



屈曲部の状況



内圧試験後の管きよ内の状